

Shining ほいく

【今号の特集内容】



第31号 令和2年1月14日
編集・発行 保育サービス課研修担当

① 後半の保育サービス課研修から

② 保護者参加型研修の感想



11月26, 27日『エコポリス環境ミニ教室』

講師 エコポリスセンター学習指導員

廃材を利用してリサイクルしながら「手作りおもちゃを作ろう」というテーマのもと、コンビニのお弁当の蓋などのプラスチックを利用してプラバンを作るといった内容の研修でした。



「身近な物からプラ板作り」をしました♪

身近にある物でエコ学習を行うため、「プラPS」が付いたものを、家庭でおうちの方と一緒に探してもらいたくさん集まりました。

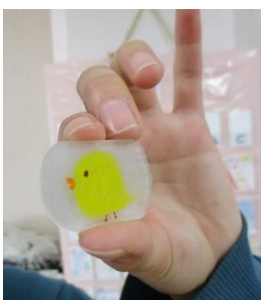
その中にティッシュ箱があり、紙は箱のこと、プラはティッシュの出口のプラスチックのことを示していることを伝えると「へ〜」「そうなんだ〜」と、色々な種類のマークがあることに気づいた子どもたちです。



今回は材料の中から、お弁当のフタでプラ板作りをしました。表面をヤスリで削り、その上に色鉛筆で絵を描いてトースターで焼きキーホルダーの出来上がり！工程をみせると、「かわいい！」の声。早速、子どもたちは色鉛筆でそれぞれ好きな絵を描き順番に入れ、トースターの窓からプラ板の様子を観察しました。「くるりんってなった！」「縮まったのが大きくなって伸びた！」「魔法みたい」と、変化を楽しんでいました。素敵なプラ板出来上がり！「ちっちゃくなった」「かわいい」「ペラペラが固くなった」「かちかち」と、感想が聞けました。



落ち葉は畑の肥料になるけど、プラスチックはそのままの形でずっと残ってしまい、生き物が食べたらお腹に留まり病気になってしまう…プラ板づくりの工程でする削りカスも、そのまま捨てると生き物が食べてしまうのでゴミ箱に捨てる。そのまま捨てるとゴミになるものも、リユースすることで、繰り返し使うことができることを学んだ子どもたちでした。



くるりんって
なったね





牛乳パックで万華鏡作りをしました♪

高島平つくし保育園
の実践報告(4歳児)

研修前にエコポリスセンターの環境講座で、「プリンカップを使ってけん玉作り」を体験しました。今回はクラスの取り組みとして「牛乳パックを使って万華鏡作り」に挑戦してみました。好きな絵、模様を描いて万華鏡を作りました。出来上がって覗き込んでみると「おもしろい!」「他のクラスにも見せに行きたい!」との声が上がっていました。

万華鏡の中心部分です。牛乳パックで四角錐を作り、山の部分にアルミを貼ります(保育士が作成)



画用紙に、好きな絵や模様を描きます



描いた画用紙の絵を内側にして、牛乳パックに巻き付ける感じで筒状に折り、両端をのりにつけます

筒の中に牛乳パックを入れて筒を上下に動かすと、アルミに写った絵が上下して面白いです!



☆普段捨ててしまうものも再利用することで、『楽しいおもちゃ』に変身させることができるということを体験しました。リサイクルすることや、物を大切に使うことを子どもたちに伝えていくことができました。

☆廃材を集めて準備しておき、子ども達が自由な発想で自由に作ることができる環境設定も今後考えていきたいです。

11月26日『今 子どもに伝えたい歌』

講師 伊藤 幹翁(童謡塾 はにほへと)

童謡歌手の歌を聴きながら、様々な音楽が溢れる現代、本当に伝えたい歌を考えるという研修でした。各園の実践例をご紹介します。参考にご覧ください。

高島平あやめ保育園 2歳児クラスでの実践



講師の方々の心に響く童謡の数々を聴くことができ、大変素敵な時間でした。今回の研修の中で私たち保育士に向けて「童謡を沢山歌い聴かせたり、子どもたちと一緒に歌い、子どもたちの心を育ててほしい」と講師の皆さんがおっしゃっていたことが心に残りました。

童謡の中に出てくる情景、登場する人や物をイメージしながら歌うことを楽しむことで、豊かな心を育てていきたいと感じました。

保育の
1コマ♪

「どんぐりころころ」の紙芝居の読み聞かせ中、歌う場面があり、子どもたちを誘いみんなで歌うことになりました。歌うことが大好きな子どもたちは張りきって歌いますが、みんなびっくりの大きな声(叫び声…)

保 「みてみて、このどんぐりさん どんな感じ？」

子 「小さい!」「かわいい!」

保 「そうだよね!じゃあこのどんぐりさんみたいにかわいく歌ってみようか」と声をかけるとみんながにっこり。かわいい“どんぐりころころ”が保育室に響きました。こんな風に実践しています♪

中板橋保育園 0歳児クラスの実践



今回の研修を受けて、「子どもたちが大好きな先生の歌声で、童謡を届けてあげてください」と講師の先生がおっしゃっていたのが印象に残りました。

0歳児クラスの担任となり、4月からたくさんの歌をうたって楽しむことができました。寝かしつけの時は、「ゆりかごのうた」を歌い、おうちの人と別れて過ごす保育園でのお昼寝の時間が少しでも楽しいものになればいいなあと思っています。

保育の 1コマ♪

寒くなってきたある日のこと。
布団を出し、眠たい子をトントンしながら、いつものように「ゆりかごのうた」を保育士が歌っていると、食事を終えて入ってきた子が、遊び用の布団と人形を出して歌に合わせて人形をトントンし始めました。
～お布団に入ってねんねしようよ～
と、思いつつも、しばらく歌に合わせてトントンする子をほんわかあったかい気持ちで見守っていました♪

優しくトントンして
います♡



11月28日『非認知能力を育み学び続ける子どもを育てる』

講師 増田 修治(白梅学園大学)

「体幹」「感覚統合」の2本柱を通して非認知能力を育む保育についての保護者参加型研修でした。この講演に参加された保護者の方の感想です。参考にご覧ください。

とても面白い研修でした。0歳の子がお母さんのいないいないばあの絵本で自分のお母さんの写真を選ぶところに感動しました。

日々、保育園の先生方は発達を考えて接してくれているんだなあと思いがちです。

子どもへの声掛けなど参考になる事が色々ありました。子どもとの対話をもっと楽しむ余裕を持ちたいものです…。(なかなか難しいですが) またこのようなお話を聞く機会があればぜひ参加したいです。

実際に増田先生が入られている現場のお話やエピソードも盛り込んでくださったので、今の時代の子どもの姿や問題点をクリアに理解することが出来ました。

『あいうえのあそび歌』や『子ども用力レンダー』を使った「先を見通す力を付ける方法等」は家庭でも実践できるので、ぜひ取り入れたいと思いました。

子どもにも自分と同じような感情がある、気持ちを伝えるように接していくことの大切さを感じました。

「人の話を聴くことが出来る子は、話を聴いてもらった経験の豊かさがある」ときき、やや反省。最近はずっくり話をきいてあげることができていなかったの、息子も私の話をきいてくれていなかったのだと思いました。増田先生から最後に「問いと答えの間を豊かにする」と発言があり、今まですぐに答えを出すことをしていましたが、これからは、子どもが興味を持ち想像力が豊かになるように、子育てしていければと思いました。